

2021(令和3)年1月9日

保護者・生徒各位

東洋高等学校
校長 石井 和彦

2021年1月8日(金)発令 緊急事態宣言への対応について

1. 学校運営の基本方針

2021年1月5日(火)に文部科学省より発信された、「小学校、中学校及び高等学校等における新型コロナウイルス感染症対策の徹底について(通知)」に、『学校においては、地域の感染状況を踏まえ、学習活動を工夫しながら、可能な限り、学校行事や部活動等も含めた学校教育活動を継続し、子供の健やかな学びを保障していくことが必要です。』と記載されています。よって、本校では感染防止対策を徹底しながら学校運営を継続します。ただし、感染状況に応じては、学校における対面での指導を中止し、家庭でのオンライン学習(ZOOM、ロイロノートスクール等利用)に切り替える場合があります。

2. 感染防止対策の徹底について

① 登校指導について

- 水道橋駅近辺の混雑状況を考慮し、時差登校・短縮授業を継続します。
- 入館時にサーモグラフィー等で体温を再確認します。体温が37°C(平均体温が高い者は37.5°C)以上の場合、帰宅してもらいます。この場合、欠席扱いとはなりません。
- 入館時に消毒液を用いて、手指の消毒をしてもらいます。

② 学習活動全般について

- 授業中は生徒、教員ともマスクを着用します。
- 教室は、これまでと同様に基本的には常時換気の状態を維持します。教室のドアを閉める場合、授業時間の半分以上を過ぎたところでドアを開き5分間の換気を行います。防寒対策として、授業中のひざ掛けの使用を許可しています。
- 理科の授業では、実験を行う場合、一グループ2名までとします。その際、生徒は使い捨てのゴム手袋を着用して行います。
- 音楽の授業では、合唱や管楽器等を用いる活動は行いません。
- 体育の授業では、十分に呼吸ができなくなるリスクを回避したうえで、常時マスクを着用します。
- 欠席したとき、家庭で自主学習を進められるようにするため、ロイロノートスクールを用いて、授業内容(扱った教科書のページ等)を連絡します。

③ 休み時間について

- 更衣や教室移動時の会話等も最小限となるように指導します。
- 日常的な手指の消毒を再度、奨励します。
- 昼食はマスクを外す必要があり、感染リスクがともないます。昼食時の指導を徹底します。昼休みの12時10分～12時30分をマスクを外させる昼食タイムとし、昼食はこの時

間に自席で私語をせず摂ることにします。昼食後も 12 時 30 分までは立ち歩くことはせず、食事時の友人等に配慮してもらいます。12 時 30 分までに食べきれない場合、自席にて私語せず昼食を続けてもらいます。

④ 清掃について

- 清潔な空間を保ち、健康的な生活により生徒の免疫力を高めることが重要になります。そのため、放課後に通常清掃を行います。また、教室内の消毒を行います。
- 様々なウイルスが拡散する可能性があるため、ごみ箱は封鎖します。

⑤ 特別活動・その他

- 保健室での休養は、保護者の迎いの待機時のみとします。
- エレベーターは使用できません。特別な事情がある場合、担任に相談の上、使用の許可を受けてください。
- 自習室は開設しません。
- クラブ、委員会は原則として活動を禁止します。ただし、ミーティング、生徒評議会等短時間で終わられるものは実施可能とします。完全下校時刻は 16 時 30 分(土曜日は 14 時 30 分)とします。ただし、特別な事情があり、学校長が許可した活動に関してはこの限りではありません。
- 図書館は原則 16 時 00 分(土曜日は 14 時 00 分)までの開館とします。開館日については廊下に掲示してある開館カレンダーを確認してください。
- 放課後は寄り道をせず、速やかに帰宅してください。

⑥ 家庭における感染症対策の依頼について

- 毎朝、登校前に検温し、健康観察記録に記入をお願いします。朝のホームルームで確認させていただきます。
- 生徒自身が体調不良(内科症状)の症状が見られる場合、自宅待機としてください。この場合、欠席扱いとはなりません。
- 家族に体調不良(内科症状)の症状がある場合、自宅待機としてください。この場合、欠席扱いとはなりません。

3. 生徒への個別対応について

- ① 特に配慮が必要な生徒を対象に、登校できない場合、5 教科を中心に ZOOM による授業のライブ配信を試行的に実施します。通信環境はご家庭でご準備ください。また、公共交通機関が混雑しない土曜日 14 時 00 分～15 時 30 分に校内にて学習フォロー室を開室し、個別指導を行います。

4. 備考

- ① 新型コロナウイルスは誰でも感染する可能性があります。感染した人や症状のある人を責めたりからかったりすることはせず、思いやりをもって接するようにしてください。